

第9回久慈市議会定例会会議録（第4日）

議事日程第4号

平成24年12月19日（水曜日）午後1時30分開議

- 第1 議案第6号（総務委員長報告・質疑・討論・採決）
- 第2 議案第13号（教育民生委員長報告・質疑・討論・採決）
- 第3 議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第11号、議案第12号、議案第14号、議案第15号、議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第19号、議案第20号、議案第21号（産業建設委員長報告・質疑・討論・採決）
- 第4 議案第2号（質疑・討論・採決）
- 第5 議案第3号（質疑・討論・採決）
- 第6 議案第4号（質疑・討論・採決）
- 第7 議案第5号（質疑・討論・採決）
- 第8 発議案第8号、発議案第9号、発議案第10号（採決）
- 第9 議員派遣の件（採決）

会議に付した事件

- 日程第1 議案第6号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 日程第2 議案第13号 久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例
- 日程第3 議案第7号 市道の構造の技術的基準等を定める条例
- 議案第8号 移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例
- 議案第9号 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
- 議案第10号 都市公園条例の一部を改正する条例
- 議案第11号 市営住宅等条例の一部を改正する条例
- 議案第12号 下水道条例の一部を改正する条例
- 議案第14号 水道法施行条例
- 議案第15号 財産の取得に関し議決を求めることについて

議案第16号 負担付きの贈与を受けることに関し議決を求めることについて

議案第17号 財産の貸付けに関し議決を求めることについて

議案第18号 財産の貸付けに関し議決を求めることについて

議案第19号 財産の貸付けに関し議決を求めることについて

議案第20号 財産の貸付けに関し議決を求めることについて

議案第21号 財産の貸付けに関し議決を求めることについて

日程第4 議案第2号 平成24年度久慈市一般会計補正予算（第5号）

日程第5 議案第3号 平成24年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

日程第6 議案第4号 平成24年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第2号）

日程第7 議案第5号 平成24年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

日程第8 発議案第8号 久慈市議会委員会条例の一部を改正する条例

発議案第9号 久慈市議会会議規則の一部を改正する規則

発議案第10号 議会改革推進特別委員会の設置について

日程第9 議員派遣の件

出席議員（24名）

- 1 番 梶 谷 武 由君 2 番 下川原 光 昭君
3 番 藤 島 文 男君 4 番 上 山 昭 彦君
5 番 泉 川 博 明君 6 番 木ノ下 祐 治君
7 番 畑 中 勇 吉君 8 番 砂 川 利 男君
9 番 山 口 健 一君 10 番 桑 田 鉄 男君
11 番 澤 里 富 雄君 12 番 中 平 浩 志君
13 番 小 柳 正 人君 14 番 堀 崎 松 男君
15 番 小 倉 建 一君 16 番 小野寺 勝 也君
17 番 城 内 仲 悦君 18 番 下 館 祥 二君

19 番 中 塚 佳 男君 20 番 八重櫻 友 夫君
21 番 高屋敷 英 則君 22 番 宮 澤 憲 司君
23 番 大 沢 俊 光君 24 番 濱 欠 明 宏君

欠席議員（なし）

事務局職員出席者

事務局長 一 田 昭 彦 事務局次長 大 森 正 則
庶務グループ 五日市清樹 議事グループ 田 高 慎
総括主査 議事グループ 主 任 長 内 紳 悟

説明のための出席者

市 長 山内 隆文君 副 市 長 外館 正敏君
副 市 長 星 文雄君 総 務 部 長 菅原 慶一君
総務部付部長 大湊 清信君 総合政策部長 中居 正剛君
総合政策部部長 晴山 真澄君 市民生活部長 勝田 恒男君
健康福祉部長 砂子 勇君 農林水産部長 村上 章君
(兼福祉事務局長) 産業振興部長 下館 満吉君 (兼水道事務局長)
山形総合支所長 澤口 道夫君 教育委員長 鹿糠 敏文君
教 育 長 亀田 公明君 教 育 次 長 宇部 辰喜君
選挙管理委員会 谷地末太郎君 監 査 委 員 石渡 高雄君
委 員 長 農業委員会会長 宇部 繁君 総務部総務課長 (併選管事務局長) 久慈 清悦君
農 業 委 員 会 藤森 智君 教 育 委 員 会 米澤 喜三君
事 務 局 長 松本 賢君 総務学事課長

~~~~~

午後 1 時 30 分 開議

○議長（八重櫻友夫君） ただいまから、本日の会議を開きます。

~~~~~

諸般の報告

○議長（八重櫻友夫君） 諸般の報告をいたします。
議員発議案 3 件及び当職からの提出議案 1 件をお手元に配付してあります。

発議案第 8 号

久慈市議会委員会条例の一部を改正する条例
上記の議案を別紙のとおり、久慈市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

平成 24 年 12 月 19 日提出

久慈市議会議長 八重櫻 友夫 様

提出者 久慈市議会議員 小倉 建一

提出者 久慈市議会議員 澤里 富雄

提出者 久慈市議会議員 堀崎 松男

提出者 久慈市議会議員 桑田 鉄男

提出者 久慈市議会議員 小野寺勝也

久慈市議会委員会条例の一部を改正する条例
久慈市議会委員会条例（平成 18 年条例第 185 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条を同条第 2 項とし、同条に第 1 項として次の 1 項を加える。

議員は、少なくとも 1 の常任委員となるものとする。ただし、議長についてはこの限りでない。

第 5 条の見出し中「特別委員会」の次に「等」を加え、同条に次の 1 項を加える。

3 特別委員会の委員は、特別委員会に付議された事件が議会において審議されている間在任する。

第 7 条第 4 項中「第 2 項」を「第 3 項」に改め、同項を同条第 5 項とし、同条中第 3 項を第 4 項とし、第 2 項を第 3 項とし、第 1 項の次に次の 1 項を加える。

2 議長は、委員の選任事由が生じたときは、速やかに委員を選任する。

第 13 条の見出し及び同条中「議会運営委員及び特別委員」を「委員」に改める。

附 則

この条例は、地方自治法の一部を改正する法律（平成 24 年法律第 72 号）附則第 1 条ただし書に定める日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

提案理由

地方自治法の一部改正に伴い、所要の整備をしようとするものである。

発議案第 9 号

久慈市議会会議規則の一部を改正する規則
上記の議案を別紙のとおり、久慈市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

平成 24 年 12 月 19 日提出

久慈市議会議長 八重櫻 友夫 様

提出者 久慈市議会議員 桑田 鉄男

提出者 久慈市議会議員 澤里 富雄

提出者 久慈市議会議員 堀崎 松男

提出者 久慈市議会議員 小倉 建一

提出者 久慈市議会議員 小野寺勝也

久慈市議会会議規則の一部を改正する規則

久慈市議会会議規則（平成18年久慈市議会規則第1号）の一部を次のように改正する。

目次中

「第8章 表決（第76条―第87条）

第9章 請願（第88条―第94条）

第10章 秘密会（第95条・第96条）

第11章 辞職及び資格の決定（第97条―第101条）

第12章 規律（第102条―第109条）

第13章 懲罰（第110条―第115条）

第14章 会議録（第116条―第119条）

第15章 議員の派遣（第120条）

第16章 補則（第121条）」を

「第8章 表決（第76条―第87条）

第9章 公聴会、参考人（第88条―第94条）

第10章 請願（第95条―第101条）

第11章 秘密会（第102条・第103条）

第12章 辞職及び資格の決定（第104条―第108条）

第13章 規律（第109条―第116条）

第14章 懲罰（第117条―第122条）

第15章 会議録（第123条―第126条）

第16章 議員の派遣（第127条）

第17章 補則（第128条）」に改める。

第17条中「第115条の2」を「第115条の3」に改める。

第37条第1項中「第90条」を「第97条」に改める。

第121条を第128条とする。

第16章を第17章とする。

第15章中第120条を第127条とし、同章を第16章とする。

第14章中第119条を第126条とし、第116条から第118条までを7条ずつ繰り下げ、同章を第15章とする。

第13章中第115条を第122条とし、第111条から第114条までを7条ずつ繰り下げる。

第110条第2項ただし書中「第96条第2項」を「第103条第2項」に改め、同条を第117条とする。

第13章を第14章とする。

第12章中第109条を第116条とし、第102条から第108条までを7条ずつ繰り下げ、同章を第13章とする。

第11章中第101条を第108条とし、第97条から第100条までを7条ずつ繰り下げ、同章を第12章とする。

第10章中第96条を第103条とし、第95条を第102条とし、同章を第11章とする。

第9章中第94条を第101条とし、第88条から第93条までを7条ずつ繰り下げ、同章を第10章とし、第8章の次に次の1章を加える。

第9章 公聴会、参考人

（公聴会開催の手続）

第88条 会議において公聴会を開く議決があったときは、議長は、その日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を公示する。

（意見を述べようとする者の申出）

第89条 公聴会に出席して意見を述べようとする者は、文書であらかじめその理由及び案件に対する賛否を、議長に申し出なければならない。

（公述人の決定）

第90条 公聴会において意見を聴こうとする利害関係者及び学識経験者等（以下「公述人」という。）は、あらかじめ文書で申し出た者及びその他の者の中から、議会において定め、議長から本人にその旨を通知する。

2 あらかじめ申し出た者の中に、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方に偏らないように公述人を選ばなければならない。

（公述人の発言）

第91条 公述人は、発言しようとするときは、議長の許可を得なければならない。

2 公述人の発言は、その意見を聴こうとする案件の範囲を超えてはならない。

3 公述人の発言がその範囲を超え、又は公述人に不穏当な言動があるときは、議長は、発言を制止し、又は退席させることができる。

（議員と公述人の質疑）

第92条 議員は、公述人に対して質疑をすることができる。

2 公述人は、議員に対して質疑を行うことができない。

（代理人又は文書による意見の陳述）

第93条 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は文書で意見を提示することができない。ただし、議会が許可した場合は、この限りでない。

（参考人）

第94条 会議において参考人の出席を求める議決があったときは、議長は、参考人にその日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を通知しなければならない。

2 参考人について、第91条、第92条及び第93条の規定を準用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

提案理由

地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものである。

発議案第10号

議会改革推進特別委員会の設置について

上記の議案を別紙のとおり、久慈市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成24年12月19日提出

久慈市議会議長 八重櫻 友夫 様

提出者 久慈市議会議員 小野寺勝也

提出者 久慈市議会議員 澤里 富雄

提出者 久慈市議会議員 堀崎 松男

提出者 久慈市議会議員 小倉 建一

提出者 久慈市議会議員 桑田 鉄男

議会改革推進特別委員会の設置について

1 本議会に議長を除く委員23人をもって構成する議会改革推進特別委員会を設置し、議会改革の取り組みを推進するため、次の事項について調査を付託する。

- (1) 議会基本条例の策定に関する事項
- (2) 広報広聴の充実に関する事項
- (3) 議員定数及び議員報酬等に関する事項
- (4) その他議会改革に関する事項

2 議会改革推進特別委員会は、議会の閉会中も調査を行うことができるものとし、議会が本件調査終了を議決するまでの間、継続して調査を行うものとする。

~~~~~

#### 日程第1 議案第6号

○議長（八重櫻友夫君） これより、本日の議事日程に入ります。

日程第1、議案第6号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。木ノ下総務委員長。

〔総務常任委員長木ノ下祐治君登壇〕

○総務常任委員長（木ノ下祐治君） 本定例会におい

て、総務委員会に付託されました議案第6号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」について、去る12月14日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その概要と結果について報告いたします。

本条例は、岩手県人事委員会の勧告に基づいて、一般職の職員、市長、副市長、教育長及び議員の期末手当の支給割合を改定しようとするものであります。

具体的な内容であります。官民給与の格差を是正するため、平成25年度以降に支給する期末手当の支給割合を、6月支給の期末手当については0.025月分、12月支給の期末手当についても同じく0.025月分をそれぞれ削減し、あわせて年間0.05月分を削減しようとするものであります。

なお、県の人事委員会勧告は、本年12月支給分の期末手当から削減することとなっているが、当市では昨年以来、職員が復旧・復興業務に奔走し、懸命に取り組んでいることから、本年度の期末手当では調整しないこととして提案したとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、人事委員会勧告の趣旨についてただしたのに対し、県内の都市は国の人事院勧告と岩手県の人事委員会勧告にはほぼ半分ずつ準拠しているが、公務員の給与には地域、民間の給与等を反映させることとの国の指導に基づき、市が独自に民間給与等を調査することは相当に困難であり、岩手県の勧告を参考にすることがより現実的かつ地域の実態に即していると判断し、県の勧告に準拠しているとの答弁がありました。

次に、今回の改定により削減される給与等の総額及び県と久慈市のラスパイレス指数の状況についてただしたのに対し、改訂に伴う年間の影響額は、給与等については616万円、共済費が102万円、合計で718万円程度と見込んでいる。また、平成23年4月1日時点における県のラスパイレス指数は99.7、久慈市のラスパイレス指数は94.3であるとの答弁がありました。

委員会では、職員の震災対応の苦労や他市の状況を考えると、本年12月の適用を見送り、来年度からの適用としたことは適切であり、削減には抵抗はあるものの、地域事情等を現実的に捉え、当局の提案を良とするとの意見や、県に比べて当市のラスパイレス指数は高いわけではないことから、引き上げとは言わないが、

何とか現状維持とすべきではないかななどの意見があったところでもあります。

そのほか県内他自治体の状況、ラスパイレス指数の是正、職員組合との交渉経過、近年における期末勤勉手当等の支給割合、期末手当創設の趣旨などについて質疑、答弁が交わされたところでもあります。

採決の結果、議案第6号は賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、委員長報告を終わります。

○議長（八重櫻友夫君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を許します。

24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 委員長にお聞かせを願いたいわけですが、他市の状況について、もう少し詳しくご答弁できるのであればご答弁をお願いします。

あわせて、年度途中の手当、あるいは給与の削減についての意見の開陳があったかどうかお聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 6番木ノ下祐治君。

○6番（木ノ下祐治君） まず、意見の開陳であります。意見の開陳はなかったと記憶しておりますが、もし私の記憶に間違いがあれば大変でございますので、当局のほうからお聞きいただければ幸いです。

他市の状況については、今、委員長答弁したとおりでございますので、それ以上のことについては当局のほうからお尋ねいただければ助かります。

○議長（八重櫻友夫君） 24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 委員長から聞きますれば、この他市の状況、私、新聞の斜め読みでありましたが、一般職については否決をした例もあったと、特別職については採択されなかったというなのも仄聞しているものですから、新聞紙上で。具体的に当局のほうからも委員長が聞いてくれということです。改めて当局からこの具体例、他市の状況についてお聞かせを願いたい。

それからもう一つ、私は常々議会でも議論をしているわけですが、年度途中の給与の削減というのはいかがなものかという、議論がなかったということであるとすれば残念だったということでございます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 現時点での私どもで承知している他市の状況ですが、委員会でもご報告いたしました。委員長報告にもありましたように、県内13市のうち6市が国の人勧準拠、それから、7市が県の委員会準拠というふうな実態と承知しております。

それで、今、濱欠議員さんがおっしゃったのは、北上市、これが11月の臨時議会で提案しまして、不利益遡及等の事案でございましたので、一般職については否決したと、それで、特別職等については議決したというふうに承知しております。

それで、当市においては県の委員会準拠なんですけれども、これ7市あるんですが、県は当然ですけれども、盛岡市、それから、二戸市の2市が11月の臨時会において遡及しての適用で議決したというふうに伺っております。

それから、当市は今、お諮りしているわけですが、残り4市あるわけですが、現在の内々の状況ですと、そのうちの半数程度が3月議会までに提案を予定していると。それから、あとの2市は他市の状況を見て、そういうふうな状況と伺っているところです。

それから、年度途中について、本委員会については似たような趣旨のものあったんですけども、昨年の委員会におきまして、そのような不利益遡及について、年度途中での人事院勧告なり、それについてはいかがなものかというふうな意見の開陳がなされたとは承知しております。

そして、いずれにしろそういうふうなこともありまして、昨年度については、遡及適用にはしなかったと、今回の場合においてもそういうふうな状況ではございます。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは採決いたします。議案第6号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（八重櫻友夫君） 起立多数であります。よっ

て、議案第6号は原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第2 議案第13号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第2、議案第13号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。桑田教育民生委員長。

〔教育民生常任委員長桑田鉄男君登壇〕

○教育民生常任委員長（桑田鉄男君） 本定例会において、教育民生委員会に付託されました議案1件について、去る12月14日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その概要と結果についてご報告申し上げます。

なお、委員会では議案の審査に先立ち、現地調査を実施したところであります。

それでは、議案第13号「久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、侍浜小学校角柄分校を平成25年3月31日をもって廃止し、同年4月1日から侍浜小学校と統合をしようとするものであります。

角柄分校は、平成20年5月に教育委員会が定めた学校再編のための基本方針に基づき、地区町内会及びPTA等延べ8回にわたり懇談会を開催してきたところであり、その結果、地区町内会及びPTAから平成24年11月2日付の文書で角柄分校を廃止することについて同意する旨の意思表示があったことから、侍浜小学校と統合しようとするものであるとの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、学校再編に際し、侍浜小学校を統合先にするという意見の最終的な合意については、地域住民が全てかかわった上での合意だったのかとただしたところ、地区住民との懇談会を重ねてきた中では、地区の行事や地域性からも侍浜町の地区住民という意識が強いことから、侍浜小学校本校との統合となった。地区住民の方々の意見を十分に聞いており、住民全員の合意と捉えているとの答弁がありました。

次に、学校再編の進捗状況についてただしたのに対し、各対象校については、まだ住民、保護者の理解が十分得られていない段階であり、引き続き地域の方々の意見を聞きながら進めなければならないとの答弁がありました。

次に、角柄分校廃止に際しての地域からの要望についてただしたところ、児童生徒についての遠距離通学支援、分校施設及び跡地の利活用、学校再編に係る説明会や懇談会の中での意見等の実現に向けての努力などの要望があり、1点目については、来年度予算要求での対応、2点目については、地域の要望に沿った形で活用していただく方向での検討、3点目については、すぐ実現できるもの、時間をかけて実現するものなど、さまざまな意見があり、市長部局とも十分協議してまいりたいとの答弁がありました。

そのほか、保護者の勤務先等の事情による学区外就学について、今後の児童数の見込み、教育環境の変化に伴う児童の見守り、角柄分校の土地の所有者などについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第13号は全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、委員長報告を終わります。

○議長（八重櫻友夫君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。議案第13号「久慈市立小中学校設置条例の一部を改正する条例」は、委員長の報告のとおり可決することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

~~~~~

## 日程第3 議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第11号、議案第12号、議案第14号、議案第15号、議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第19号、議案第20号、議案第21号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第3、議案第7号から議案第12号まで及び議案第14号から議案第21号までの14件を議題といたします。

以上に関し、委員長の報告を求めます。小倉産業建設委員長。

〔産業建設常任委員長小倉建一君登壇〕

○産業建設常任委員長（小倉建一君） 本定例会において、産業建設委員会に付託されました議案14件について、去る12月14日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その概要と結果について、ご報告いたします。

なお、委員会では議案の審議に先立ち、現地調査を実施したところであります。

初めに、議案第7号「市道の構造の技術的基準等を定める条例」について申し上げます。

本条例は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域主権改革一括法の施行による道路法の一部改正に伴い、市道を新設し、または改築する場合における市道の構造の一般的技術的基準及び市道に設ける道路標識の寸法について定めようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで、政省令道路構造令・道路標識、区画線及び道路標示に関する命令で定められていた基準が条例委任されるものであり、条例制定にあたっては、国の基準を参酌した上で、市道の構造の一般的技術的基準については、基本的に国の基準に準拠することとし、ただし、当市に該当しない高速自動車国道・自動車専用道路・国道・県道・軌道に関する規定は定めませんこと。

さらに、多少の用地的制約等があっても歩道を整備し、歩行者の安全を確保する観点から、歩道の幅員は、実情に合わせて1.5メートルまで縮小できることとしたものである。

また、市道に設ける道路標識の寸法については、国の基準に準拠することとしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、条例制定による安全性の向上など市民とのかわりについてただしたのに対し、市条例を制定し、道路づくりを進めることで市民の要望に応えることができるよう弾力的運用が可能になったとの答弁がありました。

次に、市条例で歩道の自転車走行が可能になるのかただしたのに対し、この条例で歩道をつくることになるが、走行については県の公安委員会の指定が必要との答弁がありました。

そのほか、標識の関係、設計速度、道路勾配などに

ついて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第7号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第8号「移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例」について申し上げます。

本条例は、地域主権改革一括法の施行による高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い、市道に関する道路移動等円滑化基準について定めようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで、省令、移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令で定められていた基準が条例委任されるものであり、条例制定に当たっては、国の基準を参酌した上で、高齢者、障害者等の移動等の円滑化を図る観点から、特定道路の新設または改築を行う際の市道の構造に関する移動等円滑化基準について、基本的に国の基準に準拠することとし、ただし、当市に路面電車がないことから、路面電車停留所の構造に関する規定は定めませんこととしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

高齢者等が歩行する特定道路は当市で管理する道路にあるのかただしたのに対し、当市には現在のところ特定道路として指定している路線はないが、それに準ずるような市道、例えば都市計画道路のような広幅員の道路については、この規定に準拠して現在整備しているし、今後も同様になると思うとの答弁がありました。

採決の結果、議案第8号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第9号「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」について申し上げます。

本条例は、議案第8号と同様に、地域主権改革一括法の施行による高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い、移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準について定めようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで、省令、移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令で定められていた基準が条例委任さ

れるものであり、条例制定に当たっては、国の基準を参酌した上で、高齢者、障害者等の移動等の円滑化を図る観点から、移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準について、国の基準に準拠することとしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、この条例は市民すべての健常者を含め適用になっていくことかただしたのに対し、高齢者、障害者に向けた設備を整備していくが、当然健常者も使用することになるとの答弁がありました。

次に、市で管理する特定公園とはどのような公園を指すのかただしたのに対し、異山公園、諏訪下の公園など10カ所程度の都市公園を指すとの答弁がありました。

そのほか、県管理の公園と条例とのかかわりなどについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第9号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第10号「都市公園条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、地域主権改革一括法の施行による都市公園法の一部改正に伴い、都市公園及び公園施設の設置に関する基準について必要な事項を定めようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで、法令、都市公園法・都市公園法施行令で定められていた基準が条例委任されるものであり、条例改正に当たっては、国の基準を参酌した上で、これまでと同様に都市公園の整備を図る観点から、都市公園及び公園施設の設置に関する基準について、国の基準に準拠することとしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、条例改正により市民の利便性、安全性の向上につながる内容かただしたのに対し、市条例の改正を重ねるなどにより利便性、安全性は高まっていくものと捉えているとの答弁がありました。

次に、地方分権により市職員の事務量も多くなる。その対応、対策についてただしたのに対し、職員の増員により対応していけるよう担当部署にお願いしていきたいとの答弁がありました。

そのほか、都市計画課として公園新設計画の有無、

民間公園と条例とのかかわりなどについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第10号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第11号「市営住宅等条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、地域主権改革一括法の施行による公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅等の整備基準及び入居者資格について必要な事項を定めるとともに、所要の整理をしようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで、政省令、公営住宅法施行令・公営住宅等整備基準で定められていた基準が条例委任されるものであり、条例改正に当たっては、国の基準を参酌した上で、入居収入基準、裁量階層の対象範囲については、基本的に国の基準に準拠することとし、ただし、裁量階層の入居収入基準の上限額については、平成21年度に行った上限額の条例改正から年数が経過していないこと等から、国の基準の引き上げ後の額25万9,000円とせず、引き上げ前の額で、市の現行の21万4,000円を維持することとしたものである。

また、整備基準については、国の基準に準拠することとしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、位置の選定、敷地の安全性からいって、津波被害を受けた湊地区の市営住宅は移転・新築を考えているのかただしたのに対し、湊地区市営住宅は床上浸水だったが、現在は移転・新築に向けての考えはないとの答弁がありました。

次に、市営住宅入居状況について質したのに対し、現在223戸の市営住宅があり、11戸は建てかえ計画のため空き家としており、212戸中1戸の空き家について入居募集中であるとの答弁がありました。

そのほか、市営住宅への災害救助法の適用などについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第11号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第12号「下水道条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、地域主権改革一括法の施行による下水道法の一部改正に伴い、公共下水道の構造の基準、終末処理場の構造及び維持管理の基準、都市下水路の構造



及び維持管理の基準について、必要な事項を定めるとともに、所要の整理をしようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで政令、下水道法施行令で定められていた基準が条例委任されるものであり、条例改正に当たっては、国の基準を参酌した上で、公共下水道の構造の基準、終末処理場の構造及び維持管理の基準、都市下水路の構造及び維持管理の基準について、基本的には国の基準を準拠することとし、ただし、人や車両等の事故防止の観点から、マンホールふたについては、浮上及び飛散を防止することができるふたを設けることとしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、マンホール整備については、これまでどのような規則で整備してきたのかただしのに対し、これまでは工事仕様書の中でうたって施工してきたが、今回から条例によることとしたとの答弁がありました。

次に、マンホール破損等が原因の車両事故の場合の管理責任についてただしのに対し、管理者である市の責任になるとの答弁がありました。

そのほか、下水道整備率、整備目標、今後の整備地区などについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第12号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第14号「水道法施行条例」について申し上げます。

本条例は、地域主権改革一括法の施行による水道法の一部改正に伴い、水道布設工事監督者の配置及び資格に関する基準、並びに水道技術管理者の資格に関する基準について定めようとするものであります。

具体的な内容であります。これまで、政令、水道法施行令で定められていた基準が条例委任されるものであり、条例制定に当たっては、国の基準を参酌した上で、水道布設工事監督者及び水道技術管理者の資格については、専門的な知識・技術を要し、また安全で安定的な水道水の供給、運営を図る観点から、国の基準に準拠することとし、同様に、水道布設工事監督者の配置基準についても、国の基準を準拠することとしたものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、水道布設工事監督者、水道技術管理者の所属

についてただしのに対し、この資格は水道事業を行う側、当市の水道事業所の職員が持つべき資格であるとの答弁がありました。

次に、現在当市の水道事業所の水道布設工事監督資格所持者数についてただしのに対し、当市の水道事業所には布設工事監督者及び水道技術管理者の資格所持者は3名いるとの答弁がありました。

そのほか、当市の水道供給能力、水道料金などについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第14号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第15号「財産の取得に関し議決を求めることについて」申し上げます。

本案は、久慈市立園芸センターの用地である宇部町第12地割内の土地5,261平方メートルを2,215万9,456円で買い入れしようとするものであります。

具体的な内容であります。現在、賃借している園芸センターの用地について、取得する相手方から1平方メートル当たり約4,212円の単価により買い入れしようとするものである。

また、買い入れに当たっては、本年7月に不動産鑑定評価を行い、財産評価委員会から同意の答申を受けた後、11月22日に土地売買仮契約を締結したものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、購入用地の使用目的についてただしのに対し、園芸に関する知識及び技術の普及向上を図り、園芸の振興に寄与し、農業者等に憩いの場を提供するという目的があるとの答弁がありました。

次に、購入用地の地目が田になっていることから、農地法との関係についてただしのに対し、農地転用については、農地法により収用法に係る部分で不要とされているとの答弁がありました。

そのほか、これまでの賃貸料、農協が借用している土地との関係などについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第15号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第16号「負担付きの贈与を受けることに関し議決を求めることについて」申し上げます。

本案は、東日本大震災により著しい被害を受けた中小企業等の早期事業の再開を支援するために、独立行

政法人中小企業基盤整備機構が整備を行った仮設施設について、負担付きの贈与を受けようとするものであります。

具体的な内容であります。整備された仮設施設23件については、機構が定める事業スキームにより、施設の完成から1年後に市町村に贈与されることとなっており、贈与の条件として、贈与後は市が引き続き被災事業者のために当該施設を管理及び運営し、施設の完成後5年間は個人または私企業に譲渡してはならないこと。また、これに違反した場合には、施設整備に要した費用に相当する額を市が機構に納付しなければならないこととなっている。

なお、これらの財産については、施設の完成から5年後にそれぞれの入居者に対して、市から無償譲渡する予定であるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、贈与を受ける施設と施設の建つ土地所有者との関係についてただしたのに対し、現在は市が県有地、私有地を無償で借用し、公有地扱いとなっているとの答弁がありました。

次に、独立行政法人中小企業基盤整備機構はどのような団体かただしたのに対し、所管省庁は中小企業庁であり、中小企業の振興のため、これまでも全国の中小企業の支援等を行ってきた団体であるとの答弁がありました。

そのほか、現在の所有権の所在などについて質疑、答弁が交わされたところであります。

採決の結果、議案第16号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第17号から第21号「財産の貸付けに関し議決を求めることについて」申し上げます。

本案は、議案第16号で負担付きの贈与を受けようとする仮設施設23件について、東日本大震災により著しい被害を受けた中小企業等に早期の事業再開を支援するため、無償貸し付けしようとするものであります。

具体的な内容であります。貸し付けする期間を、貸し付け年月日から当該貸付年月日が属する年度の末日までとし、特段の事情がない場合、1年ごとに更新しようとするものであるとの当局からの説明がありました。

以下、審査の概要について申し上げます。

まず、議案ごとの業者の組み合わせとなっているが、

どのような考え方によって分類したのかただしたのに対し、議案第17号は漁協関係、それ以外は議案第18号以降については、民間企業ということで単独の議案にしたとの答弁がありました。

次に、5年後の無償譲渡時に用地問題等でトラブルの心配はないかただしたのに対し、5年後どうなっていくのか等については、再度協議していくことになるとの答弁がありました。

そのほか、被災者、被災企業への救援・救済制度の緩和策などについて質疑、答弁が交わされたところがあります。

採決の結果、議案第17号から第21号は全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、委員長報告を終わります。

○議長（八重櫻友夫君） たいだいまの委員長報告に対し、質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。議案第7号「市道の構造の技術的基準等を定める条例」、議案第8号「移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例」、議案第9号「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」、議案第10号「都市公園条例の一部を改正する条例」、議案第11号「市営住宅等条例の一部を改正する条例」、議案第12号「下水道条例の一部を改正する条例」、議案第14号「水道法施行条例」、議案第15号「財産の取得に関し議決を求めることについて」、議案第16号「負担付きの贈与を受けることに関し議決を求めることについて」及び議案第17号から議案第21号までの「財産の貸付けに関し議決を求めることについて」の以上14件は、委員長の報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、議案第7号から議案第12号まで及び議案第14号から議案第21号までの14件は原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第4 議案第2号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第4、議案第2号「平成24年度久慈市一般会計補正予算（第5号）」を議題といたします。

議案の審議方法についてお諮りいたします。

第1条、歳入歳出予算の補正については、歳入歳出ともそれぞれ款ごとに、他の各条については条ごとに説明を受け、審議を行うことにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、9款地方交付税、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。12ページをお願いいたします。歳入、9款1項1目地方交付税であります。東日本大震災復興事業の財源として、震災復興特別交付税5,085万4,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

13款国庫支出金、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 13款国庫支出金1項国庫負担金であります。1目民生費負担金は、実績見込みにより、障害者自立支援給付費6,491万4,000円の増ほか2件の増、合わせて8,873万4,000円の増額。2目災害復旧費負担金は、実績見込みにより、土木施設災害復旧負担金1,793万8,000円の減額。この項は、合わせて7,079万6,000円の増額を計上。

2項国庫補助金であります。1目総務費補助金は、東日本大震災復興交付金17億2,804万5,000円の増額、2目民生費補助金は、障害程度区分等認定審査運営事業22万5,000円の増、ほか1件の増、合わせて78万8,000円の増額。5目土木費補助金は、実績見込みにより建設機械整備事業200万円の減額、この項は、合わせて17億2,683万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

14款県支出金、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 14款県支出金1項県負担金であります。1目民生費負担金は、実績見込みにより障害者自立支援給付費3,254万1,000円の増、ほか2件の増、合わせて3,507万6,000円の増額を計上。2項県補助金であります。2目民生費補助金は、障害者地域生活支援事業28万1,000円の増、福祉灯油等購入費助成事業の補助金として、被災地福祉灯油等特別助成事業825万円を計上、ほか1件の増、合わせて1,303万1,000円の増額。3目衛生費補助金は、浄化槽設置整備事業56万6,000円の増額。4目労働費補助金は、緊急雇用創出事業73万9,000円の増額。5目農林水産業費補助金は、新規就農総合支援事業75万円の減額。6目商工費補助金は、中小企業被災資産復旧事業126万7,000円の増額。この項は合わせて1,635万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

16款寄附金、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 16款1項寄附金であります。2目教育費寄附金は180万9,000円を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

17款繰入金、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 14ページをお願いいたします。17款繰入金1項基金繰入金であります。7目東日本大震災復興交付金基金繰入金は1億359万5,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

18款繰越金、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 18款1項1目繰越金であります。前年度繰越金に9,752万6,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

19款諸収入、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 19款諸収入4項4目雑入であります。福祉医療給付費返還金17万8,000円を計上、基金からの助成を受けて、学校に太陽光発電と蓄電池を設置するコココーラ復興支援基金3,000万円を計上、合わせて3,017万8,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

20款市債、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 20款1項市債であります。3目衛生債は、火葬場施設整備事業債590万円の減額。5目土木債は、除雪機械整備事業債90万円の減額。7目災害復旧債は、過年発生補助災害復旧事業債1,330万円の減、ほか1件の増。合わせて950万円の減額。この項は、合わせて1,630万円の減額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） この火葬場整備事業債の590万円の減、これは歳出の21ページで1,175万4,000円の減額補正計上になっていますけども、全体として広域それぞれの市町村が負担しているわけですが、減額の理由は何でしょうか。

○議長（八重櫻友夫君） 勝田市民生活部長。

○市民生活部長（勝田恒男君） 火葬場の負担金の減額の理由ということでございますが、事業費の確定による減だということで広域連合から伺っているところでございます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） そうすると、総額どのように確定して、予算がどういうふう確定して、全体としての減額の額、久慈市も含めてどうなっていますか。

○議長（八重櫻友夫君） 勝田市民生活部長。

○市民生活部長（勝田恒男君） その点につきまして

は、資料を持ち合わせておりませんので、取り寄せてご答弁をさせていただきたいと思います。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に、歳出に入ります。

給与費明細書及び1款議会費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） それでは、最初に給与費等について、補正予算給与費明細書によりご説明申し上げます。32ページをお願いいたします。

1、特別職であります。表の一番下の比較の欄でご説明申し上げます。職員数は3人の増。報酬7万1,000円の増となります。

33ページをお願いいたします。2、一般職（1）総括であります。表の一番下の比較の欄でご説明申し上げます。実績見込みにより、給料は2,830万円の減、職員手当2,830万円の増となっております。

以上で、給与費明細書の説明を終わります。

それでは、前に戻っていただきまして、16ページをお願いいたします。

歳出、1款1項1目議会費であります。実績見込みにより、職員給与費1万6,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

2款総務費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 2款総務費1項総務管理費であります。1目一般管理費は、実績見込みにより、職員給与費528万6,000円の減、ほか3件の増、1件の減、合わせて17億4,424万4,000円の増額。2目文書広報費は、文書事務経費100万円の増額、5目財産管理費は、実績見込みにより、庁舎維持管理費137万2,000円の減ほか1件の増で、補正額の増減はございません。6目企画費は、組み替えのため、補正額の増減はございません。9目諸費も組み替えのため、補正額の増減はございません。この項は、合わせて17億4,524万4,000円の増額を計上。

2項徴税費であります。1目税務総務費は、職員給与費325万4,000円の増額を計上。

3項1目戸籍住民基本台帳費であります。職員給与費215万9,000円の減額を計上。

4項選挙費であります、1目選挙管理委員会費は、職員給与費34万円の増額を計上。

18ページをお願いします。5項統計調査費であります、1目統計調査総務費は、職員給与費19万円の増額を計上。

6項1目監査委員費であります、職員給与費3万5,000円の増ほか5件の減、合わせて30万8,000円の減額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。23番大沢俊光君。

○23番（大沢俊光君） 17ページの総務費、2款のところで関連するかなと思ってお尋ねしたいんですが、財産管理費のところは補正額がなくて、庁舎の維持管理費が三角の137万2,000円と、こうなっていますけれども、この内容をひとつお聞きしたいというのが一つです。

それから、もう1点、直接関係するかどうかはわかりませんが、今回、NTT東日本さんからインターネットの接続のサービスに関する開始がありますという戸別の案内があったんです。いわゆるエリア拡大であったり、内容の向上が図られると、こういうふうなことで期待をしているわけですが、市の庁舎、職員事務対応については、いろいろ改善を求めてきた中では、この時代の流れに沿って、パソコンといえますか、インターネット時代での体制が整ってきたように思っております。

それに反して、私ども議会側の、今、会派室として使っているところ等々にこういうエリア拡大の機会等を捉えて、各会派室にもコンピューター、インターネット、パソコンなどが接続して、それぞれの研さんをするための議員側にも対処してほしいという考え方がありますけれども、予算検討をいただきたいと思うんですが、考え方をお尋ねしたいと思います。

○議長（八重櫻友夫君） 菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） まず、庁舎管理費といえますか、財産管理費にかかわって、庁舎維持管理費の減の内容ということでございますけども、これは、庁舎の警備委託料、清掃委託料の入札執行残でございます。

それから、いわゆる議会における執務室といえますか、委員会室等において、パソコンの導入ということ

で、これは以前の議会等においても話題になったというふうに記憶してございます。

それで、パソコンの台数等につきましては、いろいろと内部で管理しているものでございますので、いろんな諸説もあるかとは思いますが、現在、私どものところでも震災対応等において、いわゆる緊急雇用とか臨時職員、多数配置しておりますが、現実的な面として、手前どものパソコンはリースでございます。それで、今、いわゆる増員体制においてのパソコンを現実的に職員のほうにもまだ行き渡らない状況でございます。

いずれにしろ、これは、前から議会等からも申し入れがあった事項でございますので、今後も検討をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 23番大沢俊光君。

○23番（大沢俊光君） 要請があつて、まだ職員には行き渡っていないということもありますけれども、こういう機会をとらえて対処してもらいたいということ強く求めたいと思います。

実は、今、私ども、議会改革のあり方についていろいろ議論をし、この後、発議も出るわけでありまして、11月6日ですか、いわゆる班編成をして、実際に試行ということで議会報告会をやってみたわけですが、他のことは総括していませんのでわかりませんが、私が割り振りをいただいた1班の流れの中では、いろいろこの市民のレベルの高いやりとりがある中で、終局におきまして、議員がもっともっと研さんを積んだり、内部の勉強というものをしなきゃならないという項目がたくさん出てまいりました。

どうかひとつ、来年度に向けての予算査定なり検討をする時期でございますが、終局においては、今任期中に議長が会派室を整えていきたいという方針を示していますが、なかなか形にならないという実態もありますので、ぜひこの機会を、改革委員会の流れも見ながら、会派としての部屋をきちっと割り振りをして、こういったインターネットなり議員が研修して市民に対処できるような施設を整えてほしいと、こういうことを検討してほしいと、予算時期についてぜひ検討をいただきたいと思うんですが、ご答弁をお願いします。

○議長（八重櫻友夫君） 菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） パソコンのみならず、会派の部屋といいますか、そういうふうなものも過去の議会においてもお話があったというふうに記憶はしております。

それで、会派の部屋につきましては、手前どもの庁舎の関係からなかなか難しいというふうな当時ご答弁申し上げたような記憶もございますけれども、議会事務局等とも時々話はしておりますけれども、それについては研究検討を重ねていきたいと思っております。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 23番大沢俊光君。

○23番（大沢俊光君） 検討をしていただくということで、大変前向きだなと思っておるところでございます。ぜひ、いわゆる、私どもは私どもで改革のありようについて中身を精査してまいりますけれども、常時議員が来て勉強をするという態勢がないと、報告をするという形の流れが出てこない。

市民にも言われました。パフォーマンスを先行するなど、もっと勉強をしないと、議長が答弁ができないとか謝ることを聞きにきたんじゃない、こんなことまで言われたんです。

ぜひひとつ、組織からも上げてもらいたいという改革委員会の中でも要望をしておりますけれども、ぜひお願い申し上げます。

○議長（八重櫻友夫君） 山内市長。

○市長（山内隆文君） 施設設備の充実ということは、議会のみならず必要なことだと捉えております。

ただ、一方では議会活動と議員活動、これは似て非なるものだろうというふうに捉えております。そのところも含めて研究をさせていただきたいと先ほどから答弁させていただいております。ご理解をよろしくお願いいたします。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

先ほど、歳入20款で保留しておりました答弁を求めます。勝田市民生活部長。

○市民生活部長（勝田恒男君） 火葬場の建設費の関係でご質問をいただいております保留答弁にお答えをしたいと思います。

平成24年度の予算で申し上げさせていただきたいと思えます。予算の中で、火葬場建設事業費の負担金、これが4市町村で約7億1,100万円でございます。それが今回の補正でもって、補正後の予算額が約7億

100万円になるというものでございまして、これについては決算剰余金等の計上に伴っての減額だということと伺っております。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 3款民生費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 3款民生費1項社会福祉費であります。1目社会福祉総務費は、実績見込みにより、職員給与費1,111万3,000円の減、高齢者等の低所得者世帯を対象に、福祉灯油等購入費助成事業費1,719万8,000円を計上、ほか3件の増、合わせて1億6,551万7,000円の増額。2目老人福祉費は、久慈広域連合介護保険負担金1,927万3,000円の減額。3目国民年金費は、職員給与費179万9,000円の減額。4目災害救助費は、災害弔慰金250万円の増額。この項は、合わせて1億4,694万5,000円の増額を計上。

2項児童福祉費であります。1目児童福祉総務費は、職員給与費37万6,000円の増、ほか1件の増、合わせて309万3,000円を増額。3目児童福祉施設費は、職員給与費1,677万8,000円の減、ほか1件の組み替え。20ページをお願いいたします。この項は、合わせて1,368万5,000円の減額を計上。

3項生活保護費であります。1目生活保護総務費は、職員給与費255万6,000円の増額。2目扶助費は、実績見込みにより、生活保護法による扶助費3,000万円の増額。この項は、合わせて3,255万6,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。1番梶谷武由君。

○1番（梶谷武由君） 福祉灯油購入助成のことについてですが、この対象者数とか金額基準、あるいは具体的な助成の仕方について伺います。

○議長（八重櫻友夫君） 砂子健康福祉部長。

○健康福祉部長（砂子勇君） 福祉灯油についてでございます。

まず、対象者でございますけれども、市内に住所を有する方で、かつ住民税非課税世帯が前提でございます。この中で65歳以上のみの世帯、あるいは障害者の属する世帯、また、母子・父子家庭、生活保護世帯等でございます。現時点で3,300世帯を見込んでございます。この額が、支給額自体で1,650万円を見込んでい

るものでございます。

また、実際の支給の手続でございますけれども、当方で現在捉えております該当者と見込まれる方に対しては個別にご案内申し上げます。そのほか広報とか等々に掲載いたしまして周知をしていくというものでございまして、この補正予算、お認めいただいた後にその手続に入っていくって、実際は1月の中ごろから申請を受け付けるという予定でいるものでございます。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 1番梶谷武由君。

○1番（梶谷武由君） 例えば現金で給付するとか、口座振替とか、あるいは灯油等とありますが、灯油のみとか、使途等についてはどのようになるか。

○議長（八重櫻友夫君） 砂子健康福祉部長。

○健康福祉部長（砂子勇君） これにつきましては、現金と申しますか、口座振替の支給という手続の仕方を行う予定でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

4款衛生費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 4款衛生費1項保健衛生費でございますが、1目保健衛生総務費は実績見込みにより、職員給与費141万4,000円の減、ほか1件の減、合わせて1,316万8,000円の減額。4目環境衛生費は、実績見込みにより、浄化槽設置整備事業費197万6,000円の増額。この項は、合わせて1,119万2,000円の減額を計上。

2項清掃費でございますが、1目清掃総務費は、職員給与費115万6,000円の増、ほか1件の増、1件の減。この項は、合わせて1,701万5,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

5款労働費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 5款労働費1項1目労働諸費でございますが、実績見込みにより、職員給与費17万8,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

6款農林水産業費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 6款農林水産業費1項農業費でございますが、2目農業総務費は、実績見込みにより、職員給与費254万3,000円の減、ほか2件の増、合わせて238万2,000円の減額。3目農業振興費は、新規就農総合支援事業費75万円の増、久慈市立園芸センターの用地取得事業費2,218万円を計上、合わせて2,293万円の増額。22ページをお願いいたします。この項は、合わせて2,054万8,000円の増額を計上。

2項林業費でございますが、1目林業総務費は、職員給与費47万1,000円の増額を計上。

3項水産業費でございますが、1目水産業総務費は、職員給与費394万2,000円の増額。3目漁港管理費は、漁港環境向上施設整備事業費170万円の増額。4目漁港建設費は、職員給与費37万5,000円の増。ほか1件の増、1件の減。合わせて21万1,000円の増額。この項は、合わせて585万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 20ページの園芸センターの用地取得事業費の一般財源、2,218万の中身は何でしょう。いわゆる復興交付金ではないかなという確認です。

○議長（八重櫻友夫君） 村上農林水産部長。

○農林水産部長（村上章君） ただいまのご質問にお答えいたしたいんですが、これは一般財源でございますので、復興交付金とか、そういうものではございません。一般財源の税等と、そのようにご理解をいただきたいと存じます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

7款商工費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 7款1項商工費でございますが、1目商工総務費は、実績見込みにより、職員給与費842万4,000円の増額。2目商工業振興費は岩手県企業誘致推進委員会負担金35万円の減額、ほか4件の増、合わせて2,145万6,000円の増額。3目観光費は、紹介宣伝事業費141万8,000円の増、ほか1件の増、2件の組み替え、合わせて215万9,000円の増額。24ページをお願いいたします。この項は、合わせて3,203万9,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。1番梶谷武由君。

○1番（梶谷武由君） 2項商工業振興費のこの企業立地促進事業費補助金のところですが、具体的なところについて伺います。

○議長（八重櫻友夫君） 晴山産業開発担当部長。

○産業開発担当部長（晴山真澄君） 企業立地促進事業費補助金の内訳についてでございますが、宇部煎餅店が進出したことによりまして、進出した際にかかった費用の10%といたしまして1,922万7,000円、もう1件がありまして、室電子、既に計上済みだったんですけども、補助対象事業費が精査の結果、増額になっているということで4万1,000円、この分を追加してございます。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 16番小野寺勝也君。

○16番（小野寺勝也君） 1点お聞かせください。今のところの中小企業の被災資産の復旧事業費補助金、これの毎回出ていますが、見通しです。今後、周知もされていると思うんですが、今後の見通し、どういふふうにとらまえておられるのか、お聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 下館産業振興部長。

○産業振興部長（下館満吉君） いわゆる被災資産復旧事業費の今後の見通しということでございますが、これまでも年度当初からこれについては予算を6月補正でしてでしょうか、お願いをして取り組んで、周知しながら取り組んでまいりました。結果として3件があったわけですが、23年度1件、そして、今年度に3件ということで、その後1件が今回の補正の内容ということで4件目が出てまいったわけであります。

ずっと周知、あるいは制度等の改正等も周知しているわけでありまして、現状の段階で見てみますと、今現在これからどんどん増えてくるという状況には、当市にあってはないのかなというふうには思っております。

ただ、これは、例えばでありますけれども、野田村で事業を起こしたけれども、久慈市のほうに移ってそういう事業を起こされる、そういった場合のこの事業補助、こういったものも該当してまいりますので、そういった部分が出てまいりますと、若干、もしかしたら出てくるのかなということで、今現状ではそう多く

当市の場合は出てはこないであろうというふうな形で今現在は捉えているところでございます。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

8款土木費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 8款土木費1項土木管理費であります。1目土木総務費は、実績見込みにより、職員給与費32万4,000円の減額、2項道路橋梁費であります。1目道路橋梁総務費は、職員給与費1,269万7,000円の増額。2目道路維持費は車両管理経費211万3,000円の増、ほか1件の減、2件の組み替え、合わせて88万7,000円の減額。3目道路新設改良費は、職員給与費182万6,000円の増ほか1件の増、2件の組み替え、合わせて1億2,972万6,000円の増額。この項は、合わせて1億4,153万6,000円の増額を計上。

3項河川費であります。1目河川改良費は、職員給与費79万7,000円の増額を計上。

26ページをお願いいたします。5項都市計画費であります。1目都市計画総務費は、職員給与費55万9,000円の増額。2目街路事業費は、職員給与費7万2,000円減額。この項は、合わせて48万7,000円の増額を計上。

6項住宅費であります。2目住宅建設費は、組み替えのため、補正額の増減はございません。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。16番小野寺勝也君。

○16番（小野寺勝也君） 一点お聞かせください。

除雪の出動態勢、いわゆる積雪量に対応しての出動だと思うんですが、山形町と市内とは違いがあったと思うんですが、その点どうなっているのかと。同時に市内でも一定の積雪があってもなかなか出動にならないということで、皆さんからの要望、それぞれ毎年のようにあるわけです。その点で柔軟な出動態勢というものについての検討をされているのかどうか、お聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） それでは、除雪に関してお答えいたします。

まず、山形町と旧久慈市の部分の違いということで、山形町の場合は、出動は10センチというふうなことで聞いてございます。旧久慈市の場合については、平坦地の場合、20センチであるとか、そういうふうなこと

で決めてはございます。

ただ、今、旧久慈市のほうに対しまして20センチというふうな基準を正確にはかることができません。そういう意味では、道路の状態、気温の状態、こういうふうな状況を見ながら、積雪に関係なく出動をするということで現在進めているところであります。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 1 番梶谷武由君。

○1 番（梶谷武由君） 道路新設改良費のところですが、復興関連の道路新設改良、この明細についてお願いします。

○議長（八重櫻友夫君） 小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） 復興関連道路新設改良事業費の内訳ということでございますが、現在、この復興道路につきましては、湊地区の大崎本通り線ほか2路線とか、あと、仮称ではありますが、湊源道線、これは湊小学校から源道に通ずる路線であります。あと、浜田線、これは元木沢の部分といいますか、そこに避難地をつくってございます。そういった意味の路線を今回、事業費として計上したものでございます。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 24 番濱欠明宏君。

○24 番（濱欠明宏君） さっきと関連するんですけど、一般財源の職員給与費、例えば土木費の橋梁費にかかわって1,269万7,000円と、一般財源が1,269万7,000円でございますが、歳入で見ると、この財源というのは繰越金なのかどうか、あるいは違う財源なのかどうかというのをお聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 職員給与にかかわってのご質問でお答えいたします。

給与費明細書でご説明申し上げましたが、今回、職員の給料、2 節給料等については減、それで、手当、3 節等については増、給与費そのものについての増減はございます。したがって、今回について一般財源どうのこうのということではないことでございます。

それで、通常は、職員給については一般財源が普通でございます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 24 番濱欠明宏君。

○24 番（濱欠明宏君） 給与費にかかわってはプラマ

イゼロだというお話なんだけれども、これはさっきの質問と兼ね合いするんだけれども、土地の取得財源として2,000万という財源は、歳入で見ると、基本的には繰越金を充ててるのかなという素朴な質問。

給与費にかかわらない部分の一般財源というのは、基本的には繰越金を充てているのかなということの素朴な質問です。

○議長（八重櫻友夫君） 菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） そのとおりでございます。今回の一般財源の中身は繰越金です。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 17 番城内仲悦君。

○17 番（城内仲悦君） 先ほどの除雪に関連するんですが、幹線と枝線の間接関係がありますよね、除雪の仕方。幹線については市がやったりしていますが、枝線について、地域的にゾーン指定した形で、業者に委託をしている部分がありますよね。そこを徹底してほしいなと思うんです。ある部分については業者が入って、枝線は早く終わると、ところがある部分は来ないというわけですが。ゾーン指定が業者委託、枝線についてゾーン指定しながらやっているんだけど、その枝線はきちっとできていますか。

それとも、ある部分はできているし、ある部分はできていないということなのか、そういう感じを受けるんですけど、実際見て。ゾーン指定していると、幹線がまだ来ないうちに枝線が終わっているという部分も見えます。それはそれでいいんですけど、いずれその辺のやり方について、ことしどうなるのか、ひとつお聞かせください。

それからもう一つ、いわゆる塩カル配付体制について、行政区長さん方から要請あればもらえるということになってきているんですけど、その体制が既にできているだろうと思うんですが、その点についてお聞かせ願いたい。

もう1 点は、先ほど復興関連改良事業1 億2,790 万の関係があって、路線名が一応出たんですけど、そうしますと、この関連で言うと、委託料で5,200 万、それから、公有財産で3,400 万、それから、補てん賠償金で8,700 万ですが、これはそれぞれの13 節、17 節、22 節はこの関連の予算としての内容なのかどうか、その点。そうでなく、例えば公有財産購入費は違うところを買う場所がありますよということなのか、その辺

をお聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） それでは、まず除雪の体制ということでございます。

まず、市のほうの考え方としては、市で直営で掻く部分、これは幹線道路がほとんどになります。それから、民間に委託しておりますのが、今お話しあった枝線の部分というふうなことで、その地区地区については業者に依頼してございます。その出勤したとき枝線のほうが早まるというのも実際でございます。その後、本線を掻いていくというふうなことで、いつも問題になるんですが、交差点部分に若干雪を置いていくというふうなこともあります。

いずれそういうふうなことが出勤して早く掻いてくれということで、その量によって多少違いがあるかというふうに思っておりますが、できるだけ交差部の排除は努めていきたいというふうに思っております。

それから、塩カル部分、これについては、各町内の会長さん等に対しまして、要請があれば持っていただいて、撒いていただいているというのが今の現状でございます。

それから、新設改良費、委託料工事費等々ということでここに載せてございますが、まず、この13節の委託料については、5,200万円、これは橋梁補修の設計の委託料として計上しております。これについては、来年度なるべく早い時期に事業実施したいということ等もございまして、ここで委託料を計上しているところであります。

それから、この工事請負費の減ということでございますが、これにつきましては、現在、橋梁補修工事を実施しております。そういったことで、その見込みが4,600万円ほどの減が予想されるということでここに計上してございます。

それから、購入財産については、これは復興関係だけでなく、通常の道路の路線の用地費等も購入費としてここに計上してございます。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 除雪についてですけど、枝線は民間に委託しているんだと、ゾーン指定していると、そのゾーン指定については、こういうゾーン指定でありますというのを教えていただけるんですね。

それからもう一つは、幹線については直営だということですけども、直営の台数が限られているわけです、実際問題。十分な対応ができない中で、幹線についても民間委託にする部分も必要でないのかなという気がするんですが、そういった点で、やっぱり幹線は幹線で、バスが通ったり、いろんな意味で急いでやっていただきたいんですが、その点について、直営だけでなく、必要な部分については民間委託も含めて迅速にやっていただきたいと思うんですけど、その点。枝線のゾーン指定の範囲等を明らかにしてほしいということ。

それから、今、公有財産購入費で通常の分もという話あったんですが、具体的には通常の部分での買収の予定はどういった内容ですか。

○議長（八重櫻友夫君） 小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） それでは、除雪についての民間委託しているゾーンということでございますが、これは、土木課のほうに図面をだれても見えるような状態で置いていますので、それは可能でございます。

それから、直営の部分で、先ほど言葉足らずで申しわけないんですが、全部幹線は市だけでやっているという意味ではございませんでしたので、大変申しわけございませんが、幹線も委託してございます。

あと、用地買収の件でございます。一例で申しますと、今、事業を進めている天田内三日町線の部分についての補償というものの中で取り入れてございます。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 除雪にかかわってお聞かせを願いたいわけですが、ことしの夏はかなり厳しい暑い夏、そして、ことしの冬は大雪が降るという状況下にあるようでございまして、常々国あるいは県、市、それぞれの道路等々除雪していただいております、除雪しなければなかなか厳しい環境にあります。

そこで、例年やっているわけですが、ことしもその時期が来まして、まず第一は、緊急車両の門、要するに車のシャッターの前に、時折除雪が、そのシャッターに向かって置いていく場合が見受けられたということがありますので、それらがならないような対策を講じていただきたいと思います。

また、被災者、仮設住宅者にとりましてはつらく厳しい冬が2年目を迎えます。そういった意味で、被災

住宅地の除雪対策等についてもきめ細かな対策を練っていると思いますが、そちらの考え方について、対策についてお聞かせをお願いします。

○議長（八重櫻友夫君） 小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） 緊急車の車庫等の部分についての雪を排除した部分がある、気をつけてほしいと、いずれ気をつけて対応はしていきたいと思います。

ただ、いかんせんこの除雪方式は押す方式なものですから、なるべくそこにはできるだけ操作しながら対応していきたいとは思っていますが、多少のところはひとつよろしくお聞かせしたいと思ってございます。

それから、仮設住宅の除雪対応ということでございます。今度、今、議員お話しいただいたように2年目の冬ということになります。大変かなり状況は厳しい状況になるかと思いますが、できる限りの除雪体制はとっていききたいというふうに思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

9款消防費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 9款1項消防費であります。1目消防総務費は、実績見込みにより、職員給与費1,441万2,000円の増、ほか1件の減、合わせて835万2,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

10款教育費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 10款教育費1項教育総務費であります。2目事務局費は、実績見込みにより、職員給与費118万4,000円の増、基金からの助成を受けて、学校に太陽光発電等蓄電池を設置するコカコーラ復興支援基金エコ支援事業費3,050万円を計上、ほか2件の増、この項は、合わせて3,219万5,000円の増額を計上。

2項小学校費であります。1目学校管理費は、職員給与費818万円の減、ほか2件の増、合わせて723万8,000円の減額。2目教育振興費は、教材設備費27万5,000円の増、ほか1件の減で、補正額の増減はございません。この項は、合わせて723万8,000円の減額を計上。

3項中学校費であります。1目学校管理費は、職

員給与費14万2,000円の減、ほか3件の増、1件の組み替え、合わせて309万9,000円の増額。28ページをお願いいたします。2目教育振興費は、組み替えのため、補正額の増減はございません。この項は、合わせて309万9,000円の増額を計上。

4項社会教育費であります。1目社会教育総務費は、職員給与費396万円の減、ほか1件の減、合わせて403万1,000円の減額。4目文化会館費は、文化会館運営管理費548万2,000円の増額。5目三船十段記念館費は、職員給与費46万2,000円の減額、この項は、合わせて98万9,000円の増額を計上。

5項保健体育費であります。1目保健体育総務費は、職員給与費166万6,000円の増額。2目体育施設費は、体育施設維持管理費166万円の増額。3目学校給食費は、職員給与費22万2,000円の減、ほか1件の増、合わせて113万8,000円の増額。この項は、合わせて446万4,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） コカコーラの復興支援基金で学校に太陽光発電と蓄電池を設置するということですが、これはどこの学校なのか。それと、それぞれ複数の場合はどの程度のワット数なのか、お聞かせいただきたいと思います。

それから、文化会館の需要費が、この時点で548万1,000円の補正計上なんです。具体的にどういうことで、年度途中で補正計上になったのかお聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 宇部教育次長。

○教育次長（宇部辰喜君） まず、コカコーラの支援事業によります太陽光の設置事業でございますが、こちらは長内小学校に太陽光発電装置と蓄電池装置を設置するものでございまして、太陽光につきましてはワット数が11キロワット、それから、蓄電池につきましては15キロワットというふうな内容になっております。

それから、文化会館の増額補正でございますが、こちらにつきましては、年度途中ではございましたが、空調設備の故障がございました。それに対する修繕、それから、夏の猛暑等がございまして、重油の使用が多くなったということ、あるいは単価の増があったということの増額補正でございます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 長小に設置するということですが、これは指定的にここに設置してくださいと来たのか、いただいて教育委員会が選定して長小にしたのか、それが一つ。

長小自体も実は津波の被災地ですよ。そういった点で、将来的には移設ということになるんでしょうけれども、そうすると、今回、小学校に太陽光を設置することは、例えば避難場所としても長内小は使われていくのかどうかということです。その際は、当然あればいいわけですけども、そういった点。

それから、今後、たまたま今回、支援金があったからやったと思うんですけども、計画的にやっていく考えはお持ちなのか、各学校に。その点をお聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 宇部教育次長。

○教育次長（宇部辰喜君） まず、長内小学校に設置したことですが、こちらの補助金というか、助成の対象校というのが、被災の遭った学校というのが原則でございました。ただし、長内小学校につきましては、被災といたしましても床下浸水にとどまっておりますが、いずれこのコカコーラの補助対象には決定いただいたというふうなことで、長内小学校を選定したという経緯がございます。

それから、長内小学校につきましては移転とか、あるいはかさ上げとか、今、その方策について検討を進めなければならないということですが、避難所指定、津波避難所ではございませんが、避難所としての現在指定されているということで、そういった面からも長内小学校に太陽光を設置するということでございます。

それから、今後の学校の太陽光の設置につきましては、原則としては、教育委員会では、全小中学校に設置したいという考えがございます。もちろん統廃合等を見据えた上でのことですが、有利なこういった補助金制度を活用しながら、できるだけ早期に設置を進めていきたいという考えでございます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

11款災害復旧費、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 11款災害復旧費 1 項農林

水産施設災害復旧費であります。1 目漁港施設災害復旧は、東日本大震災に係る過年発生単独災害復旧事業費2,300万円の増額。2 目林業施設災害復旧費は、台風17号に係る現年発生単独災害復旧事業費344万円を計上。この項は、合わせて2,644万円の増額を計上。

2 項土木施設災害復旧費であります。1 目道路橋梁災害復旧費は、過年発生補助災害復旧事業費3,125万7,000円の減、ほか2 件の減。合わせて7,138万2,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に、第2条、債務負担行為の補正、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 第2条、債務負担行為の補正につきまして、表によりご説明申し上げます。5 ページをお願いいたします。

第2表債務負担行為補正であります。紹介宣伝事業について、表のとおり期間及び限度額を定めようとするものであります。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に、第3条、地方債の補正、説明を求めます。菅原総務部長。

○総務部長（菅原慶一君） 第3条、地方債の補正につきまして表によりご説明申し上げます。6 ページ、7 ページをお願いいたします。

第3表地方債補正であります。歳出予算に関連して、現年発生単独災害復旧事業を追加するとともに、火葬場施設整備事業ほか2 件について、表のとおり限度額を変更しようとするものであります。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

以上で、質疑を終わります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。議案第2号「平成24年度久慈市一般会計補正予算（第5号）」は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

この際、暫時休憩いたします。再開は午後3時30分といたします。

午後3時13分 休憩

午後3時30分 再開

○議長（八重櫻友夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~

#### 日程第5 議案第3号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第5、議案第3号「平成24年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」を議題といたします。

お諮りいたします。本案は、勘定ごと、歳入歳出別に説明を受け、審議を行うことにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定しました。

第1条、歳入歳出予算の補正、事業勘定、歳入、説明を求めます。勝田市民生活部長。

○市民生活部長（勝田恒男君） それでは、議案第3号について事項別明細書によりご説明申し上げます。8、9ページをごらん願います。

2、歳入であります。3款国庫支出金1項国庫負担金1目療養給付費等負担金は、一般被保険者高額療養費の増額見込みにより、療養給付費負担金1,749万4,000円の増額を計上。2目高額医療費共同事業負担金は、高額医療費共同事業拠出金の増額見込みより488万8,000円の増額を計上。この項は、合わせて2,238万2,000円の増額を計上いたしました。

2項国庫補助金1目財政調整交付金は、一般被保険者高額療養費の増額見込みにより、普通調整交付金について764万2,000円の増額を計上いたしました。

次に、4款県支出金1項県負担金1目高額医療費共同事業負担金は、国庫負担金と同様488万8,000円の増額を計上いたしました。

2項県補助金1目財政調整交付金は、普通調整交付金について480万2,000円の増額を計上いたしました。

7款1項共同事業交付金1目高額医療費共同事業交付金は、交付金の増額見込みにより1,686万8,000円の増額を計上。2目保険財政共同安定化事業交付金は、交付金の増額見込みにより5,992万4,000円の増額を計上。この項は、合わせて7,679万2,000円の増額を計上いたしました。

次に、11款諸収入2項5目雑入は、財源調整により2,166万7,000円の増額を計上いたしました。

以上であります。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 11款の財源調整が今回2,166万7,000円の補正計上で、合計で4億4,630万6,000円まで膨れ上がっているんですけども、この雑入の財源調整の関係で言いますと、今の時点で、これが3月決算に向けていくと、どういう状況になっていくのか、さらに増嵩していくのか、そういった場合に24年度決算の方向というのはどういった形になっているのか、見通しはどうなっているのでしょうか、お聞かせください。

○議長（八重櫻友夫君） 勝田市民生活部長。

○市民生活部長（勝田恒男君） 議員もご存じのとおり、国保会計非常に厳しい状況が続いてきております。4億4,635万6,000円ということで財源調整として予算を計上させていただいておりますけれども、この解消につきましては、現段階では国保税の確保に努める、また、国保税だけでなく、歳入の確保に努めていくというようなこと、それから、事務の効率化等によって歳出の削減を図る、もしくは適正な医療の受診をしていただくような啓発をしていくというようなことで、収支の均衡を目指してまいりたいというふう考えているところでございます。

また、今後とも市長会等を通じまして、国に対しては国保制度の健全な運営を図るということで、国保財政基盤の充実強化について要望を続けてまいりたいというふう考えているところでございます。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

歳出、説明を求めます。勝田市民生活部長。

○市民生活部長（勝田恒男君） 10、11ページをごら

ん願います。3、歳出であります、2款保険給付費  
1項療養諸費1目一般被保険者療養給付費は、共同事業  
交付金の増額見込みに伴い、5,219万6,000円の財源  
更正を計上。2目退職被保険者等療養給付費は30万円  
の減額を計上。3目一般被保険者療養費は、共同事業  
交付金の増額見込みに伴い24万4,000円の財源更正を  
計上。4目退職被保険者等療養費は30万円の増額を計  
上。この項の増減はありません。

2項高額療養費1目一般被保険者高額療養費は、不  
足見込みにより7,756万8,000円を計上いたしました。

次に、7款1項共同事業拠出金は、実績見込みによ  
り、1目高額医療費拠出金は1,955万5,000円の増額。  
2目保険財政共同安定化事業拠出金は4,105万円の増  
額を計上。この項は、合わせて6,060万5,000円の増額  
を計上いたしました。

8款1項保健事業費1目特定健康診査等事業費は24  
万円の組み替えを計上。この項の増減はありません。

以上であります。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

以上で質疑を終わります。

次に、討論であります、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。議案第3号「平成24年  
度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」  
は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よ  
って、議案第3号は原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第6 議案第4号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第6、議案第4号「平
成24年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第2
号）」を議題といたします。

お諮りいたします。本案は、歳入歳出別に説明を受
け、審議を行うことにしたいと思います。これにご異
議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よ
って、そのように決定いたしました。

第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、説明を求めま
す。村上農林水産部長。

○農林水産部長（村上章君） 議案第4号について事
項別明細書によりご説明を申し上げます。8ページ、
9ページをお開き願います。

2、歳入であります、市営魚市場第一卸売場の床
面修繕工事実施のため、6款諸収入1項1目雑入に
657万円の増額を計上、6款県支出金1項県補助金1
目農林水産業補助金に1,876万9,000円を計上いたしま
した。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

歳出、説明を求めます。村上農林水産部長。

○農林水産部長（村上章君） 10ページ、11ページを
お開き願います。

3、歳出であります、1款総務費1項総務管理費
1目一般管理費は、水産業共同利用施設復旧支援事業
費2,533万9,000円の増額を計上いたしました。事業の
内容は、歳入でもご説明いたしましたが、市営魚市場
第一卸売場の床面にクラック、ゆがみが生じているた
め、修繕工事を実施するものであります。

以上です。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

以上で、質疑を終わります。

次に、討論であります、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。議案第4号「平成24年
度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第2号）」は、
原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よ
って、議案第43号は原案のとおり可決されました。

~~~~~

#### 日程第7 議案第5号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第7、議案第5号「平  
成24年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第  
2号）」を議題といたします。

お諮りいたします。本案は、歳入歳出別に説明を受け、審議を行うことにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定しました。

第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、説明を求めます。小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） それでは、議案第5号について事項別明細書によりご説明申し上げます。8ページ、9ページをお開き願います。

2、歳入であります。6款諸収入2項1目雑入の消費税及び地方消費税還付金は、消費税及び地方消費税の還付金の確定により減額、雑入は財源調整により増額、この項は、合わせて803万4,000円の増額を計上いたしました。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

次に、給与明細書及び、歳出、説明を求めます。小上建設部長。

○建設部長（小上一治君） それでは、10ページ、11ページをお開き願います。3、歳出であります。1款1項下水道管理費1目総務管理費は、受益者負担金一括納付報奨金に34万1,000円の増のほか、1件の増、1件の減、合わせて86万2,000円の増。2目施設管理費は、下水道施設維持管理費に49万4,000円の減のほか、2件の増、合わせて35万円の減額を計上いたしました。

2款下水道事業費1項下水道整備費1目管渠施設費は、職員給与費に752万2,000円の増額を計上いたしました。

以上でございます。

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 質疑を打ち切ります。

以上で、質疑を終わります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。議案第5号「平成24年

度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）」は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第8 発議案第8号、発議案第9号、発議案第10号

○議長（八重櫻友夫君） 日程第8、発議案第8号から発議案第10号までの3件を一括議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております発議案3件は、いずれも各会派共同提案でありますので、会議規則第37条第3項の規定及び先例により、議事の順序を省略し、直ちに採決したいと思います。これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

それでは、採決いたします。発議案第8号「久慈市議会委員会条例の一部を改正する条例」、発議案第9号「久慈市議会会議規則の一部を改正する規則」、発議案第10号「議会改革推進特別委員会の設置について」、以上3件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、議案第8号、議案第9号及び議案第10号は原案のとおり可決されました。

この際、ただいま設置された議会改革推進特別委員会の委員長及び副委員長を委員会条例第8条第2項ただし書きの規定により、当職において指名したいと思います。

○24番（濱欠明宏君） 議事進行。

○議長（八重櫻友夫君） 24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 委員会条例の8条で、常任委員会に委員長、副委員長を置くんだというのがあって、委員長及び副委員長は委員会において互選すると、ただいま議長が申したのは、議員定数の過半数以上を委員の定数とする特別委員会にあっては、議長が会議に諮って指名することができる、こういうできる条項があります。

このできる条項を担保するのが議会運営委員会の正副委員長を議長が今の様な仕組みで当初から指名するというふうなことの段取りの中で、全会派一致した場合に、私は、議長が特別委員長、副委員長を指名することができるかと私はずっとそういう解釈をしてまいりました。

議会運営委員会のお話を聞きますと、実は採決をしたということでありまして、全会派一致ではなかったというふうに聞いております。

私は、この議会改革推進特別委員会にあっては、温故知新の気持ちを持たなければなりません。温故とは何ぞや、古きを尋ねるということであります。議会運営委員会は、昔、常任委員会ではございませんで、まさに議長の諮問機関、内部検討の議会運営に資することを専らとして、合議に努めて、円滑な議会運営を図るというふうなことで今日きたわけですが、議会運営委員会が常任委員会になりまして、採決ということはあるんだよということは当然に今のルールではそうなっております。

しかし、この議会改革という大きな課題に向けて邁進するときに、私ども議員は、まずもって大きな合意体であるというこの合意ということを重ねて、この議会改革推進特別委員会を運営していかなければならないと思っているわけであります。

議長が今、議会運営委員会が採決をして委員長、副委員長を決めたという以上は、本則でありますこの委員長、副委員長の選任本則、委員長、副委員長は、委員会において互選するという本則を作動することが、私は本来の筋だろうと思っております。

きょう、本会議が終了後、議長をして特別委員会を招集し、正副委員長互選のため招集すると、特別会議室もなんでしょうから、この場所でも構わないわけがありますので、この場所で特別委員会を招集し、正副委員長を決めるというふうなことで取り計らっていたきたいと思います。

いずれ少数意見がある以上は、委員会の、しかも委員長、副委員長人事に議長がそういった場合に関与するのはいかがなものかと、中立性を担保する意味においても、今回のこの特別委員会の正副委員長については、本則である委員の互選において決するべきだと思っておりますので、よろしく願い申し上げたいと思います。

○議長（八重櫻友夫君） ただいまの濱欠議員の質問の内容ですが、いずれ委員会条例第8条の2に、「委員会において互選する」というのは載っております。

そしてまた、「ただし、議員定数の過半数以上の委員の定数とする特別委員会にあっては、議長が会議に諮って指名することができる」とありましたので、議長は議会運営委員会に諮りまして、そして候補者を内定し、委員会設置の議決になり、そして、引き続いて委員長、副委員長のこちらのほうに報告がありましたので、この場で、やはり議会として議会運営委員会を重視するというのが私は一番だと思いますので、このように本日提案させていただきました。

以上です。

24番濱欠明宏君。

○O24番（濱欠明宏君） 議長の今の対応の部分はいいんです。それは、これまでも議会運営委員会である意味では内定してくれたと、その環境がどうあれ、議会運営委員会で内定した環境はさておいて、結果として、正副委員長の内定者はこうだよということが上がったとすれば、それはそれで今の様な進め方については、私は、議長としては仕方がないことだと思うんです。

しかし、今、本会議場で異議ありという声がある以上は、私は、議長はこの委員会の人事に関与するべきではない。何も別に面倒くさいことではないんです。何も、議長はぜひ、委員長、副委員長を指名しなくても、委員会の互選でもスムーズに決まるわけですので、それで委員会を招集してやったらいかがかというふうなことで再三申し上げていることでありまして、この辺、どうか議長、理解していただきたいと思いますが、いかがですか。

○議長（八重櫻友夫君） 濱欠議員のお話している趣旨はよくわかります。ただ、議会運営委員会というのは各会派から推薦されて、会派の代表者をもって議会運営委員会を開催しておりますので、私は、そこで決定になったものは重視すべきではないかということで、本日このように提案させていただきました。

そしてまた、その議会運営委員会の席にも私同席させていただいておりますが、その際にも、今、濱欠議員のおっしゃったような発言はなかったと記憶しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

以上です。

24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 3回の発言時間は終わりますので、これでやめますが、どうしても議長が今言ったことをごり押しをするのであれば、私はまず協力をするという意味で、この議場を退席しますので、その上でやってもらいたい。円滑に推進をさせたいので。

私は今回、これらも、実はこの間総選挙が終わりました。久慈市にかかわる2区については、候補者が2人とれました。残念ながら1人は比例で復活なりませんでしたが、2区、久慈に係るお二方が当選したということは、2区のあれにとっては非常に大きな喜びだと思っております、そういった意味で、私はこのことを了としながらも、余りきょうはここで、きょうは夜の懇親会もあるのでトラブリたくない。

ただ、いずれ私が再々申し上げたい。いずれ議長は、委員会人事に、環境が整ったときは、今のやり方でできるけども、しかし、異議ある状況で、議運の委員から私は報告を受けているんです。議長は、そこで円滑だったような話になっているけれども、委員から、そうではなかったと、やり方に疑問があるというふうなことを受けているのです。

そういったこともあって、私は今ここでお話をしているわけですが、いずれ、繰り返しますが、議長は、全会派一致のときには、先ほどの発言もそうです。順序を省略して採決できます。同じように、委員会で会派が一致してきたならば今のやり方でいいです。しかし、委員会で残念ながら報告があったと言えども、多数決で決したとすれば、議長は委員会人事に介入すべきではないということを申し添えておきたいと思う。

さらに、この特別改革委員会、任意の団体の際にも、議長は、土風館の会場のときに、議会の二元制について質問されて答弁しなかった例があるんです。基本中の基本です。

そういったことを含めて、いずれ、どうもこの温故の気持ちが足りない。数の横暴というか、多数決の原理を専らとして、古きを尋ねるという、現在のルールをきちっと守るという姿勢に欠けている。このことを申し上げながら、私、退席させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（八重櫻友夫君） いずれ、ただいまの件ですが、私は、議会というものは、やはり会派代表者協議会というものがあり、そしてまた、議会運営委員会というのがあり、そして、それによって、この議場、議

会が成り立っているものだというふうに認識しておりますので、よろしくお願いいたします。

では、この際、ただいま設置された議会改革推進特別委員会の委員長及び副委員長を委員会条例第8条第2項ただし書きの規定により、当職において指名したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、当職から委員長に桑田鉄男君、副委員長に小野寺勝也君を指名いたします。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、ただいまの指名のとおり選任されました。

~~~~~

#### 日程第9 議員派遣の件

○議長（八重櫻友夫君） 日程第9、議員派遣の件を議題といたします。

お諮りいたします。地方自治法第100条第13項及び久慈市議会会議規則第120条の規定に基づき、一関で開催の平成24年度岩手県市議会議長会第2回定期総会に、副議長下舘祥二君を平成25年1月17日から18日まで派遣することにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（八重櫻友夫君） ご異議なしと認めます。よって、議員派遣の件は可決されました。

~~~~~

閉会

○議長（八重櫻友夫君） 以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。

これをもって、本日の会議を閉じ、第9回久慈市議会定例会を閉会いたします。

午後3時56分 閉会